## 仕 様 書

- 1. 件 名 2024年度放送大学研究年報(第42号)編集及び印刷製本
- 2. 名 称 放送大学研究年報 第42号 JOURNAL OF THE OPEN UNIVERSITY OF JAPAN Number 42, 2024
- 3. 数 量 本体 450部 抜刷 420部(14編×30部)
- 4. 納入期限 令和7年3月31日(月)
- 5. 納入場所 放送大学附属図書館(千葉県千葉市美浜区若葉2-11)
- 6. 検 査 発注者は、物品の納入後に検査を行うものとする。
- 7. 代 価 検査終了後、適正な請求書を受理した日から40日以内に支払うものとする。
- 8. 原 稿 原稿は、本学担当職員から電子媒体及び紙媒体で提供する。 別途、提供する論題等を記した別紙「放送大学研究年報(第42号)執筆者及び論 題一覧」により、論題等を確認すること。
- 9. 仕 様
- (1)規 格 A4版
- (2)頁 数 表紙 4頁 本文 170頁
- (3)色 数 本体表紙:表2色 裏1色 本体本文:1色(カラー4色)

抜刷表紙:1色

抜刷本文:1色(カラー4色)

(4)用紙本体表紙:アートポストA1判(139kg)本体本文:クリームキンマリA1判(36.5kg)

抜刷本文: クリームキンマリ A1判 (36.5kg)

「環境物品等の調達の推進に関する基本方針」に定める印刷用紙の「判断基準」 を満たすこと。ただし、当該「判断の基準」を満たす製品を納入することが困難 な場合には、担当係員の了解を得た場合に限り、代替品の納入を認める。

(その場合は「別紙2-1資材確認票」を提出のこと。)

(5) 製 本 本体、抜刷とも無線綴じ

- (6) 構 成 表表紙 → 標題紙 → 目次(原論文) → 欧文目次
  - → 横書き本文(要旨は本文の前、欧文→和文の順) → 白紙
  - → 縦書き本文(和文要旨は本文の前、欧文要旨は本文の後)
  - → 縦書き本文用目次 → 奥付 → 裏表紙
  - ・論題ごとに改ページし、右ページ(縦書きは左ページ)から始めること。
  - ・原稿は紙出力のものを本原稿とする。
  - ・作成フォーマットは、サンプルを提供するので、それを参考とすること。
  - ・外国語に関してはジャスティファイ(行末揃え)とするが、ハイフネーションについては著者に確認すること。
  - ・それぞれ本文の前に要旨(和文)並びに Abstract (欧文)が入るので、原稿を確認すること。
  - ・その他不明なことは、別紙の「放送大学研究年報(第42号) 執筆者及び論題 一覧」により、随時著者と連絡を取り合い確認すること。
- (7)組 版 項付 全体を通して左開き本文から項付けする。

なお、縦書きは右開き本文からも括弧付きで項付けする。

活字 本文 : 和文、欧文共に13ポイントとする。

要旨、注、参考文献:和文、欧文共に12ポイントとする。

脚注 : 11ポイントとする。

柱 横書き:左ページ著者名、右ページ題名

縦書き:左ページ題名、右ページ著者名

本文 : 横書き、縦書きとともに二段組とする。

要旨:横書きは一段落とする。縦書きは縦書き本文(二段組の上一段)

の高さに合わせるものとする。

図トレースすること。

## (8) 校 正 表紙 色1回

本文 文字3回

- ・出校においては再校までは著者に直接送付し、三校(全てが揃ったゲラ)を 放送大学附属図書館に提出して校了をとること。
- ・初校時には、本編の編集と本編以外の柱、項目等のフォーマットを統一した ものを提出すること。

## 10. その他

- (1) 請負者は、納入までのスケジュール作成及び管理を行うこと。
- (2) 成果物として、製本された冊子及びPDF形式に変換したデーター式をCD-Rで納入すること。
- (3)納入方法等については、本学担当職員の指示に従うこと。
- (4) 製造物全ての著作権・版権は本学に帰属するものとし、請負者等は本学の指示又は許可なく業務上の成果物を使用してはならない。
- (5) 本仕様書に定めのない事項及び本契約の履行において疑義が生じた場合は、その都度本学担当職員と協議のうえ、その指示に従うものとする。

以上

件名:			御中			<u>f</u>	<u>作成年月</u>	日:	年	月	日
	資	材	確	認	票	_					

E	<b>巾刷資材</b>	使用 有無	リサイクル 適性ランク	資材の種類	製造元・銘柄名	備考
	本文					
	表紙					
FT 44	見返し					
用紙	カバー					
インキ	. 米百					
インヤ	块					
	製本加工					
加工	表面加工					
	その他加工					
スの世						
その他	l.					

1

使用資材	リサイクル適性	判別
Aランクの資材のみ使用	印刷用の紙にリサイクルできます	
AまたはBランクの資材のみ使用	板紙にリサイクルできます	
CまたはDランクの資材を使用	リサイクルに適さない資材を使用しています	

- 備考) 1 資材確認票に記入する印刷資材は、最新の「リサイクル対応型印刷物製作ガイドライン」 に掲載された古紙リサイクル適性ランクリストを参照すること。
  - 2 古紙リサイクル適性ランクが定められていない用紙、インキ類等の資材を使用する場合は、「リサイクル適性ランク」の欄に「ランク外」と記載すること。
  - 3 内容に関する問合せに当たって必要となる項目や押印等の要否については、様式の変更等を行うことができる。

件名:			御中			作成年月日:	年	月	日
	資	材	確	認	票				

**〇〇印刷株式会社** 

FI	]刷資材	使用有無	リサイクル 適性ランク	資材の種類	製造元・銘柄名	備考
	本文 O A _		上質紙	〇〇製紙/〇〇		
	表紙	O A		コート紙	〇〇製紙/〇〇	
   用紙	Burn 見返し O A -		上質紙	〇〇製紙/〇〇		
一川祇	カバー	_	_			
		0	Α	平版インキ	00インキ/00	
  インキ	米百					
1774	块					
	製本加工	0	Α	PUR 系ホットメルト	〇〇化学/〇〇	
加工	表面加工	0	Α	OP ニス	〇〇化学/〇〇	
	その他加工	_	_			
   その他						
ての他						

1

使用資材	リサイクル適性	判別
Aランクの資材のみ使用	印刷用の紙にリサイクルできます	0
AまたはBランクの資材のみ使用	板紙にリサイクルできます	
CまたはDランクの資材を使用	リサイクルに適さない資材を使用しています	

- 備考) 1 資材確認票に記入する印刷資材は、最新の「リサイクル対応型印刷物製作ガイドライン」 に掲載された古紙リサイクル適性ランクリストを参照すること。
  - 2 古紙リサイクル適性ランクが定められていない用紙、インキ類等の資材を使用する場合は、「リサイクル適性ランク」の欄に「ランク外」と記載すること。
  - 3 内容に関する問合せに当たって必要となる項目や押印等の要否については、様式の変更等を行うことができる。